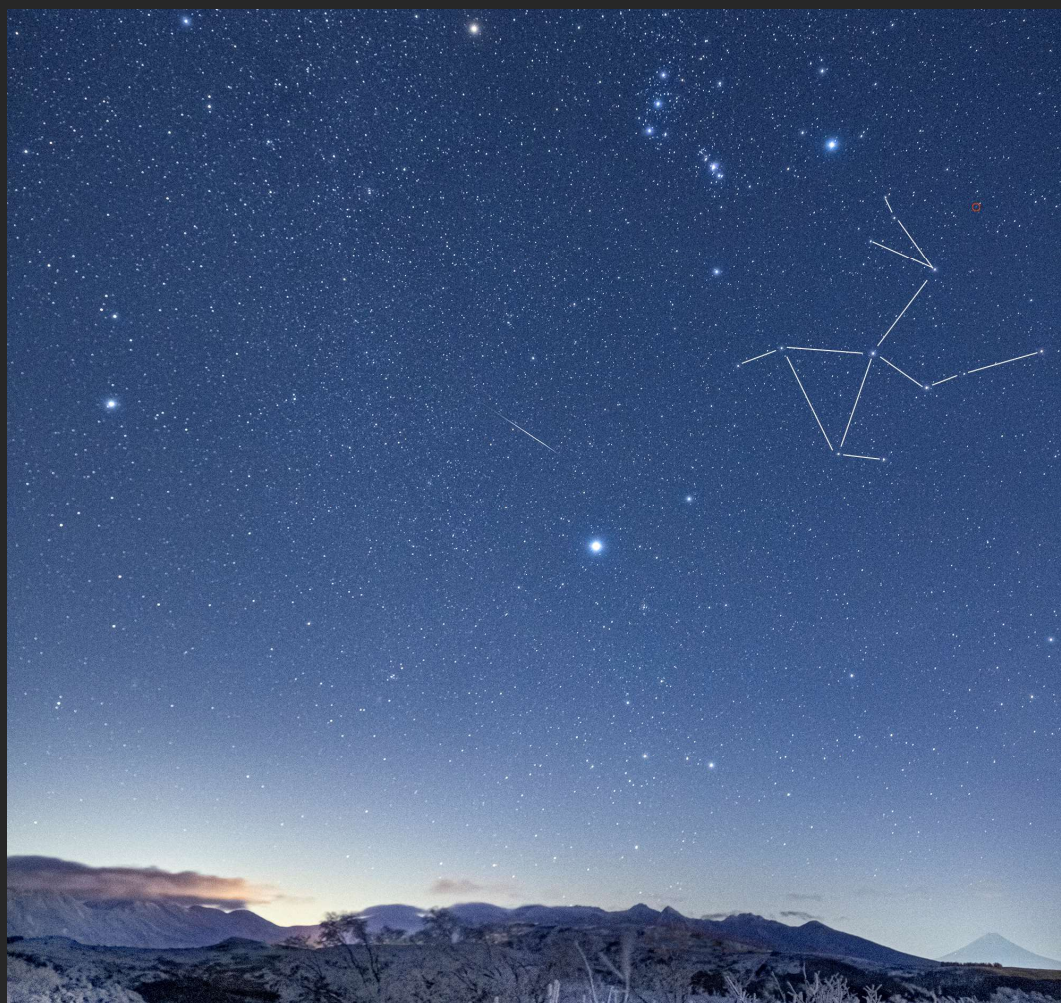


天文教育

2023

1

*Publications of the Japanese Society for Education and Popularization of Astronomy
(PJSEPA)*



＜特別記事＞2023 年、感じて伝える（松本会長）

＜投稿＞黒点は巨大都市か？～トライやる生徒による太陽観察～

＜報告＞2022 年 11 月 12 日関東支部会報告

＜その他＞年会のお知らせ（第 1 報）、

事務局からのお知らせ ほか

一般社団法人 日本天文教育普及研究会

本誌原稿募集のお知らせ

編集部では下記の原稿を募集しております。会員の皆様からの活発なご投稿をお待ちしております。

なお原稿の投稿は、編集部から依頼した場合を除き、原則として当会会員の方に限らせていただきます（共同執筆者に会員を含む場合はこの限りではありませんが、投稿は会員の方からお願いいたします）。

1. **原著論文**：天文教育・普及について、オリジナル性があり考察が優れ、学術論文として主な内容が印刷発表されていないもの。表題、アブストラクト（要旨）には英文も付けてください（英文は審査通過後に追加可）。
2. **解説記事**：天文学や天文教育・普及に関する解説・紹介記事や、さまざまな天文教育や社会教育などの実践記事。分量は刷り上がりで6～10ページ程度。
3. **各種の報告など**：支部会やワーキンググループの活動報告、各種のイベントの報告など。分量は刷り上がりで2～4ページ程度。
4. **書評**：天文学や天文教育・普及に関する書籍の紹介。分量は刷り上がりで1～2ページ程度。
5. **会員の声**：会員の皆様からのご意見・ご感想など。分量は刷り上がりで1ページ程度。
6. **表紙の写真**：タイトルと400字以内の「表紙の言葉」とともにご投稿ください（写真のみでも構いません）。
7. **情報コーナー（各種会合・イベントの告知など）**：支部会やワーキンググループの会合、また天文学に関する各種の会合・イベントなどの情報。分量は任意ですが、スペースの関係で適宜省略させていただきます場合があります。会合・イベントの開催日と会誌の発行日（奇数月下旬）にご留意ください。

・**締め切り**：1は随時受け付け、2～7は偶数月（発行の前月）15日です。投稿先は post@tenkyo.net です。

・本誌に掲載された記事（上記1～6および7の一部）は、当会 Web サイトにて pdf ファイルの形で一般に公開いたします。インターネットでの公開に差し障りのある場合は、ご投稿の際にその旨ご連絡ください。

・**広告掲載**を希望される方は事務局（jimu@tenkyo.net）までお申込みください。掲載料は B5 判 1 ページ ¥20,000-、半ページ ¥12,000-、1/4 ページ ¥7,000-、チラシの折り込み ¥20,000-です。

【編集委員会からのお願い】

『天文教育』の編集は、すべて会員からなる編集委員によって行なわれています。ご投稿の際には以下の点についてご協力いただけますよう宜しくお願いいたします。

- ・原稿の投稿は、原則として Microsoft Word ファイルでお願いします。
- ・執筆用のテンプレートが当会 Web サイト（<https://tenkyo.net/>）からダウンロードできます。できるだけこのテンプレートをご利用くださるようお願いいたします。執筆上の留意点なども記しています。
- ・十分に推敲を重ねた完全原稿でご提出ください。分量や内容によっては手直しいただく場合もあります。
- ・提出データは必ず各自でバックアップしておいてください。
- ・Word 以外に一太郎ファイルやテキストファイルでも受け付けております。
- ・原稿のご投稿やご質問は電子メールにて、下記のアドレスへお願いいたします。

投稿先・質問先 メールアドレス：post@tenkyo.net

表紙の言葉

飛躍のうさぎ

2022年12月14日 21h46m, Canon EOS R5, AF-S NIKKOR 24-70mm f/2.8G ED(24 mm, F=2.8), ISO8000, 10 秒露出、
撮影地：鷲ヶ峰（長野県諏訪郡下諏訪町）

撮影・解説：大西浩次

今年のえとは「卯」、うさぎです。「うさぎ座」といえば、冬の星空を見上げると、狩人オリオンの足元に、3等と4等の暗い星たちの並びで、飛び跳ねるような「うさぎ」の姿を見つけることができます。この「うさぎ座」の耳の右（写真の丸印）には、ミラ型変光星のうさぎ座R星があります。ところで、「卯」の年は飛躍の年とも言われます。今年の天文教育界を見てみると、夏には福島県郡山市で、国際天文学連合（IAU）主催のアジア太平洋地域の天文学に関する国際会議 APRIM が開催されます。さらに、天文教育をテーマとしたサテライト会議が台湾で行われます。日

本の天文教育を世界に発信するチャンスです。また、2023年はプラネタリウムの誕生100周年です。この100周年の記念事業が、日本プラネタリウム協議会（JPA）を中心に進行中です。これまでも、このような国内外の大きなイベントが天文教育を大きく飛躍させてきました。例えば、2009年の世界天文年や2012年の日本列島横断金環日食が挙げられるでしょう。特に、世界天文年2009のとき、日本では天文教育に大きく関わる3つの組織（JSEPA、JPA、JAPOS）と研究学術組織（ASJ、NAOJ、JAXA）などが組んで多様な活動を行いました。「卯」の今年が天文教育を更に飛躍する年になるとを期待しています。さて、表紙の写真は、八ヶ岳や富士山が一望できる鷲ヶ峰から眺めた冬の大三角とうさぎ座です。ふたご座流星群の小さな流星も流れています。吹雪のあと、雪原につけられた野ウサギの足あとを追うように登山して撮影したものです。